

## Q. 集中改革プランは

## A. 新集中改革プランを策定する

安藤 春一 議員

**Q** 行政改革推進事業は、第3次計画の8項目を継続するか。

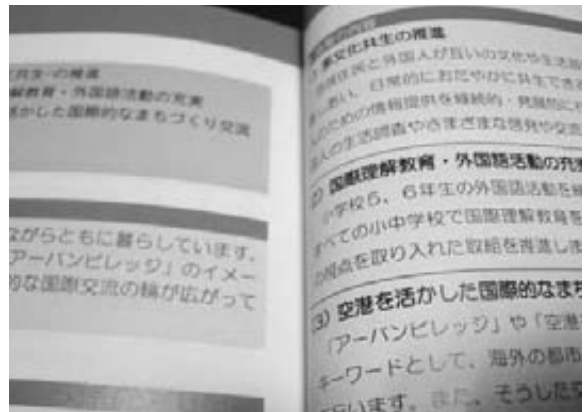
それとも、これに新規項目を追加していくのか。また、第三者機関を設け、大所高所から客観的な審判をいただいて、行財政の効率化を図るとの由。従来とは一味違った工夫が加えられているか。

行革に終わりにし。毎年5月号広報で状況報告が載る。広報は「わかりやすく」「ありのまま」が基本。内容説明は出来る限り、同じ形で簡潔な表現をとるよう。

**A** 現在の集中改革プランは平成22年度までの計画となっている。

集中改革プランの実施状況を点検しつつ、新集中改革プランの策定作業をすることになるので、第3次計画の8項目を變更するかどうかは、今の段階では明らかにできない。

期間内の計画の見直し



多文化共生を盛り込んだ第4次総合計画

## Q. 多文化共生は

## A. 先進的な事例を収集し、活用する

**Q** 3小学校で外国の子どもは何人か。また、何か国か。多様な児童の自己表現と学力を伸ばすため、どのような取り組みを持ってみえるか。

さらに、地域の一体化の促進のために、先進的な自治体の情報収集は進んでいるか。

**A** 町内3小学校の外国籍児童は20名で出身国は5、6か国である。

個々の児童生徒を大切に、一人ひとりに応じたきめ細かな教育活動に心がけており、少人数学習やチームティーチングで学び合い、高めあう学習活動を展開している。また、近隣自治体などの先進的な事例を収集し有効活用していく。

